前原中心市街地まちづくりワークショップ

ウォーカブルな前原のまちを考えよう！

レポート vol.3

全4回プログラム

第1回
まちづくりを学び
エリアへの期待を
共有する
日時 10月18日（土）

第2回
まちを歩いて
前原の魅力を発掘する
日時 11月15日（土）

第3回
具体的な
アクションプランを
考える
日時 12月13日（土）

第4回
社会実験の内容と
チームビルディング
日時 1月17日（土）

第3回 具体的なアクションプランを考える

糸島市では、前原中心市街地の「ウォーカブルなまちづくり」を進めており、ソフト事業としてR8年度に社会実験を実施する予定です。それに先立ち、市民参加型の連続ワークショップを開催しています。第３回では、第２回のまち歩きの中で見つけた「こんな風に過ごしたい」を実現するための取組等について議論を行いました。いつ・どこで・何をといった検討ステップに沿って意見を出し合いながら、班で議論を深め、最後に班の議論の成果にタイトルを付けることで大事にしたいテーマやコンセプトを整理していきました。

各班それぞれ
多様な視点からの
取組やアイデアが
生まれました

グループワークの様子

❶市担当者より開会の挨拶

❷意見を付箋に書いて話し合い

❸議論の成果にタイトル付け

❹意見をまとめて班毎に発表

話し合いの結果

各班での議論のとりまとめとして、グループワークの成果にタイトルを付けてもらいました。タイトルより各班の大事にしたいことやぜひ実現したいこと等、多様な参加者からのアイデアや各班の議論の特徴等が表現された内容になりました。

1班 駅～丸田池公園～中央公園をつなぐ回遊性の向上！！

2班 安心⇒居場所⇒人が増える⇒まちがにぎわう

3班 歩くと健康になる。拠点が見える。
サイン・看板・マップとゴミ箱が導くウォーカブルシティ

4班 駅をインフォーマティブな拠点として、まちに人の流れを生む！

5班 いとおしいまちヒカリ宿るいとしま

グループワークでは、R8年度の社会実験を見据えた議論はもちろんのこと、時間はかかるけれど前原中心市街地にとって重要なこと・実現したいこと等の視点からも「まずは」小さく始められることは何か議論を行いました。たくさんの意見やアイデアの中から、共通意見の一部をご紹介します。

pick up! みんなの共通意見

日中の取組
夕方～夜の取組

アンケートより

Q1. 本日の取組についての満足度【理由】

- 社会実験のアイデアを活発に議論出来て楽しく感じた。自分たちが出したアイデア実現に向けた期待が高まった。
- いろんなアイデアが出て楽しかった。他の班の発表だけでなく、(他の班の付箋を見る時間とるとか) 実際にもっと見てみたい。
- 議論のテーマがもう少し具体的でもよかったかなと思いました。メンバー・目的など共感できるので応援しています。

Q2. 話題提供やグループワーク等で印象に残ったことはなんですか。

- 大学生の方や、子育てをしてらっしゃる方の意見が出て知ることができました。
- イリスロードや名店街があらためて飲食店が多いと感じた。
- 制限が多いなかでやれることが多く、前原のポテンシャルを感じ、それを上手く活かせていない現状にもどかしさを感じた。

糸島市役所 建設都市部 都市計画課
092-332-2077(直通) 092-329-1311 toshikeikaku@city.itoshima.lg.jp